

# 「令和3年度「関係人口創出・拡大のための中間 支援組織の提案型モデル事業」成果報告会」

団体名：U-Bito JAPAN株式会社  
2022年3月2日(火)

## U-Bito JAPAN 株式会社について

### 会社概要

会社名： U-Bito JAPAN株式会社  
代表： 代表取締役 村上貴志  
設立： 2018年4月27日  
所在地： 熊本県菊池市  
連絡先： [info@youbito.com](mailto:info@youbito.com)



### 企業理念

人と人、企業と企業が繋がり、新たな事業を生み、世界中の地域社会に貢献すること

- 一言で「ソーシャルエンタープライズ（社会的企業）」である。  
※社会的企業：営利の追求だけではなく、社会的な問題解決を目指す企業

### 事業内容

- ・ **地域プロデュース事業（社会課題解決型、行政関連受託業務など）**
- ・ ITコンサルティング事業（Society 5.0・・・IT活用した人間中心の社会）
- ・ 農業研究開発事業(6次産業化)
- ・ 国際事業（システム開発、商社、農業支援、調査研究）

### 自己紹介

・ 2015年～2017年 大阪出身、孫ターン。IT企業で企画営業職を経て、熊本県菊池市の地域おこし協力隊（移住定住コンシェルジュ）として従事。業務内容：空き家調査、空き家バンク運営管理、空き家紹介、移住者相談対応、民泊事業立ち上げなど担当。任期終了後、法人設立し、くまもと地域おこし協力隊ネットワーク設立に関わり、現在に至る。

# 【1-1】事業概要・事業スキーム図

【概要】熊本県内を4つのエリア（県北・県央・県南・天草）に分け、各地域で活動する「地域おこし協力隊（OBOG、現役）」を軸に『地域コーディネーター』として、都市部と地域をつなぐオンラインイベントや、ツアーを実施しファンづくりを行っていく。また、地域コーディネーター育成のための研修や、各地域コーディネーターの地域視点で発掘した魅力あるコンテンツ（飲食店・農産物・宿泊（温泉）・キャンプ場・コワーキングスペース・アクティビティ）のWEB化も行い、継続して交流できるファンづくりの仕組みを作り、関係人口創出・拡大を目指していく。

## 【背景】

- ・地域おこし協力隊の地域との関係性、ノウハウ、経験など、任期終了後も活かせる仕組みはないか。収益化できないか。

## 【課題】

- ・人口減少、高齢化による地域の担い手不足
- ・地域への関心需要に対する地域との関わり方

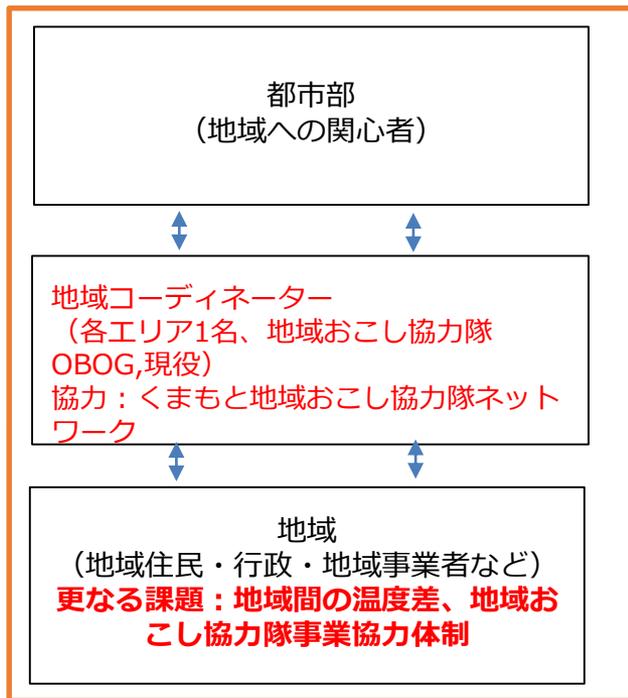
## 【事業方針】

- ・都市部と地域をつなぐファンづくり（交流の仕掛け作り）
- ・コーディネーターの育成研修（人材育成）
- ・継続的な関わりを持てるようWEB化（IT化）

## 【目指す姿】

- ①地域コーディネーターが都市部と地域を繋げる
- ②熊本県内各市町村1名の地域コーディネーターを設置することでの関係人口創出
- ③地域・行政・中間支援組織との連携体制

## 【事業スキーム】



関係人口創出・拡大

## 【事業内容】

- ①地域魅力発掘ワークショップ実施
- ②オンラインイベント
- ③現地視察ツアー（オンライン含む）
- ④地域コーディネーター研修
- ⑤WEBアプリ制作



都市部と地域をつなぐオンラインイベント



都市部と地域を繋ぐWEBアプリ



関係・交流人口創出から移住定住へつなげるための3ステップ

交流前（7月～9月）

ファンづくり

地域

（都市部へ興味がある方向け  
コンテンツ開発/ワークショップ開  
催、延べ60名参加/目標60名）  
\* 地域コーディネートが企画・運営



都市部

（地域へ興味がある方向け  
オンラインイベント6開催/目標5  
開催、参加者66名/目標60名）



交流中（10月～11月）

ファン同士の交流

都市部+地域

（現地でのリアルな体験延べ  
44名参加/目標40名）  
\* 地域コーディネートが企画・運営



県北：学生向け、  
歴史体験ツアー



天草：社会人向け  
ワーケーションツ  
アー



県央：家族向け、  
サバイバルツアー



県南：農産物に興  
味ある方向け、  
商品開発ツアー

交流後（1月～）

継続したファンづくり

都市部+地域

（アプリを通じた交流継続、コ  
ンテンツ80個/目標100コンテン  
ツ）



<https://kuma-link.com/>

都市と地域（熊本）を繋ぐ  
プラットフォーム



地域情報を更新。継続交流

### <成果>

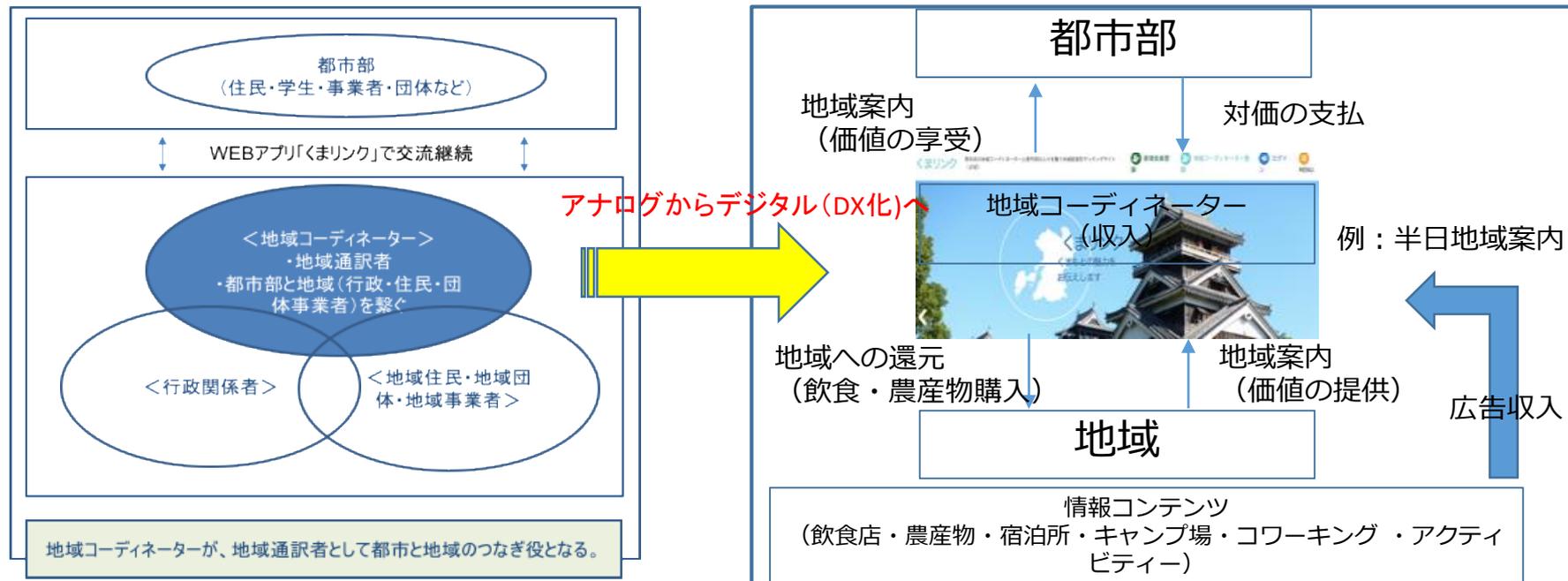
- 都市と地域を繋ぐには、地域をわかりやすく紹介できる、地域を熟知した地域コーディネーター（地域通訳者）が重要。
- 地域コーディネーターは、都市部住民と地域住民との間に入り双方のコミュニケーションを円滑にする。また、両者のバランスをとる天秤のような存在（下記図）である。
- 本事業で企画したツアー企画も旅行業者と連携し、くまリンクで販売していくこととなった。

### <今後の課題>

- ①地域コーディネーターをどのように増やしていき、地域と都市を繋いでいくのか？
- ②交流後の繋がりを「くまリンク」でどう推進して継続していくのか？

### <今後の取り組み>

- ①くまもと地域おこし協力隊ネットワークと連携し、本事業4エリア4名→16名熊本県内現役協力隊から適任者を育成していく。中長期目標として、熊本県内1市町村1名配置予定。
- ②収益化可能な「くまリンク」を活用して、繋がりを継続し収益化を目指す（3年後利用者数1500人）また、地域おこし協力隊が栽培・加工している地域の特産品を販売できる機能も追加してギフトセット定期便（サブスクモデル）を販売予定。



### 【3】 自立化・自走化の検討

項目	検討内容
実施体制	<ul style="list-style-type: none"><li>都市部と地域を繋ぐ地域コーディネーター、熊本県内地域おこし協力隊（現役・OBOG）</li><li>熊本県内各地域の自治体・事業者・団体</li></ul>
運営費用	<ul style="list-style-type: none"><li>WEBアプリの広告収入や、都市部と地域とのマッチング手数料を充当して運営していく。また、中長期で、WEBアプリを通じて地域の魅力ある特産品や加工品の販売を行うことで販売していくことで、収益化する。</li></ul>
課題と対策	<ul style="list-style-type: none"><li>定期的な交流イベントをWEBアプリ上で運営していくことが必要なため、随時コンテンツを増やしていき、イベント企画運営を行なっていく。</li></ul>

### 【4】 他地域への横展開の可能性の検討

項目	検討内容
事業スキーム ・プログラム	<ul style="list-style-type: none"><li>WEBプラットフォーム「くまリンク」を活用して、地域コーディネーターを4名から各市町村1名ずつ熊本県内45名体制まで中長期で増やしていく。</li></ul>
連携先・地域	<ul style="list-style-type: none"><li>熊本県内地域おこし協力隊OBOGのネットワークを活用して、熊本県内県北（山鹿市）、県南（芦北町）、県央（甲佐町）、天草（上天草・天草）の各エリアの隣接市町村と連携していく。</li></ul>
課題と対策	<ul style="list-style-type: none"><li>地域コーディネーターの適任者が不足しているため、人材育成としての研修や交流会を通じて人材の発掘及び育成をしていき、熊本県内で対応エリアの拡大していく。</li></ul>